

北海道銀杏会第9回定時総会報告

北海道銀杏会の第9回（平成26年度）定時総会は、4月19日（土）にホテルオークラ札幌で開催されました。

【総会】

午後2時から開催された総会では、山下会長の議長により「平成25年度事業報告の件」「平成25年度決算報告及び会計監査報告」「平成26年度事業計画（案）の件」「平成26年度事業予算（案）の件」の4議案が審議され、満場一致で承認されました。本年度の行事としては「講演会」と「秋の旅行会」を予定しています。また、部会活動として「赤門ゴルフ会」ではゴルフを通じて会員間の親睦を深めてまいります。

総会後には東京大学同窓会連合会の岡崎一夫代表幹事より、東京大学同窓会連合会の歴史と昨年度の活動状況、ならびに今年度の活動計画について報告いただきました。

【講演会】

午後2時45分から行われた講演会は、東京大学大学院教授の鈴木宣弘様を講師に迎え、農業立国北海道にはとりわけ関心の高い「北海道農業の将来とTPP」との演題で約1時間30分にわたりお話いただきました。

講演では、総合的・長期的視点の欠如した「今だけ、金だけ、自分だけ」しか見えない人々が、TPPやそれと表裏一体の規制改革、国家戦略特区などを推進し、国の将来を危うくしつつあるとお話されました。

TPPは農業だけの問題ではなく、医療や雇用など人々の命や、健康、暮らしに大きな影響を与えるということを具体的なデータやこれまでの交渉経緯も交えて分かりやすく解説されました。そのうえで、長期的な国家戦略の観点からしっかりと判断すべきであると論じられました。

【懇親会】

午後5時から行われた懇親会には、約45名の会員が出席し、来賓として、ご講演いただいた鈴木教授、岡崎代表幹事にも参加いただきました。

山下会長の挨拶に続き、平瀬顧問の豊饒とした発声で乾杯が行われ、和気あいあいとした歓談に移りました。本日出席の5名の新入会員による自己紹介など、和やかに懇親会が進み、締めくくりは藤本浩介氏（H21 新）の音頭により恒例の「ただ一つ」を大合唱しました。荻谷副会長のスピーチによる締めの挨拶で、大変盛り上がった懇親会は無事終了しました。

（報告者／渡辺 知博）



写真1 総会の様子



写真2 岡崎連合会代表幹事の大学報告



写真3 鈴木教授のご講演



写真4 平瀬顧問(札幌市元助役)挨拶



写真5 新入会員挨拶



写真6 ただひとつ合唱



第9回 総会集合写真(平成26年4月19日)